

電通ジャパンネットワーク



トランスフォーメーションを実現し、
顧客企業と社会の持続的成長に貢献

(株)電通グループ 取締役執行役員
電通ジャパンネットワーク 社長執行役員CEO
(株)電通 代表取締役社長執行役員
五十嵐 博

電通ジャパンネットワーク(以下DJN)は、電通グループの2020年度売上総利益の40%超、調整後営業利益の半分を構成する事業で、130社を超えるグループ会社に約2万人の従業員が在籍しています。

顧客企業のビジネスを成長させる真のパートナーへ

非連続な変化の中で次々と手を打たなければならない時代に、顧客企業は、複雑な課題を共に解き明かし、事業変革と事業成長のために一緒に走り続けられるパートナーを求めています。私たちDJNは、「インテグレートド・グロース・パートナー」、つまり「顧客企業と社会の持続的成長にコミットする」真のパートナーとなることを目指しています。顧客企業の事業成長を通して社会に新しい価値をもたらし、DJN、顧客企業、そして社会が一体となった持続的成長が可能だと考えています。

統合的な課題解決による持続的成長

私たちが得意としてきた広告・マーケティング、カスタマーエクスペリエンスデザイン、事業開発、ビジネスデザインなどの領域は、データやテクノロジーの活用で、益々高度化・複雑化しています。それらを顧客企業の事業成長に結びつけるためには、各領域における専門性の強化と同時に、それらを領域や組織の枠組みを超えて統合的に企画・実行することが必要です。DJNでは、ネットワーク各社に存在する多種多様なケイパビリティを掛け合わせ、顧客企業と社会の持続的成長に貢献する「インテグレートド・グロース・ソリューション(以下IGS)」を提供していきます。また、顧客企業の持続的成長を測定可能にする指標を導入し、領域をまたいだ施策の連携や評価・改善を強化していきます。

電通ジャパンネットワーク売上総利益



電通ジャパンネットワーク調整後営業利益 / OPM



電通ジャパンネットワークの変革

最高品質かつ最も効率的なバリューチェーンでIGSを顧客企業に提供するため、現在の国内事業の事業領域を「AX」「BX」「CX」「DX」の4つの変革領域に再定義し、各領域における提供価値の進化を加速していきます。

また、ネットワーク各社の力を最大化しながらDJNとしての競争力を強化していくために、国内事業を構成する各社の機能を、専門領域やシナジー創出の観点からこれらの4つの事業領域にグルーピングし、最適化していきます。更に、これらの領域を横断し、電通グループが持つ独自価値を付加するプラットフォーム事業(データやスポーツ・コンテンツ等)の強化や、コーポレート機能の高度化と効率化も同時に進めていきます。

加えて、人財の流動性・専門性を高め、提供価値を進化させ続けられる人財が集まり・高め合う環境を継続して整備するとともに、リモートワーク時代にも従業員が生き生きと働けるオフィス環境を再整備し、働き方改革をアップデートします。

そしてIGSを提供するためのスキルセット、マインドセットを再装備し、私たちの強みである生活者インサイトやアイデア、クリエイティビティの力を進化させていきます。そうすることで、DJNオリジナルの価値を生み出すトランスフォーメーションを実現し、インテグレートド・グロース・パートナーへの進化を果たしたいと考えています。



